

いつまでも輝ける 障害福祉の仕事



- 02 障害福祉の仕事とは
- 03 障害福祉の仕事 5つの魅力
- 05 働く人の声

共同生活援助（グループホーム）
生活介護

07 よくある質問（Q&A）

08 障害福祉の仕事をしてみたい！
と思ったら

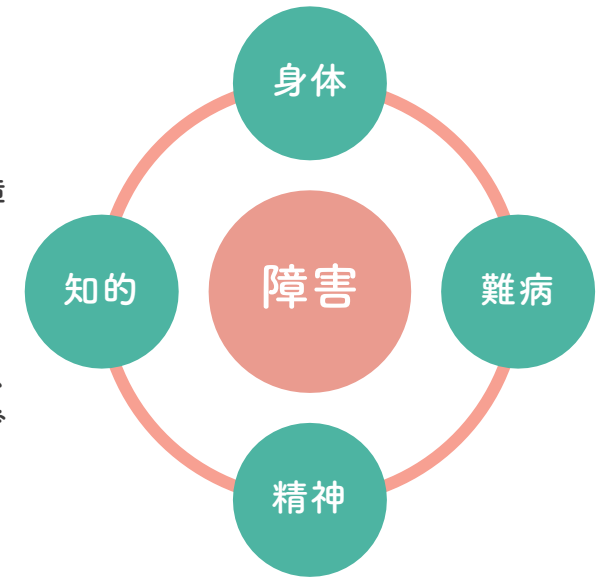
障害福祉の仕事とは？

幅広い方法で障害者を支援しています。

障害福祉とは、障害のある方が自らの望む生活を営むことができるように支援することを言います。それぞれの障害の中で、個別の状態や症状がありますので、求めている支援も多岐に渡ります。

例えば、障害のある方の状態やニーズに適したサービスにつなぐための相談や、買い物や外出の支援、入所施設での介護、共同住居での生活支援などさまざまです。

障害福祉の仕事とは、そのような支援に携わることですが、さまざまな個性や想いに触れられる魅力ある仕事です。

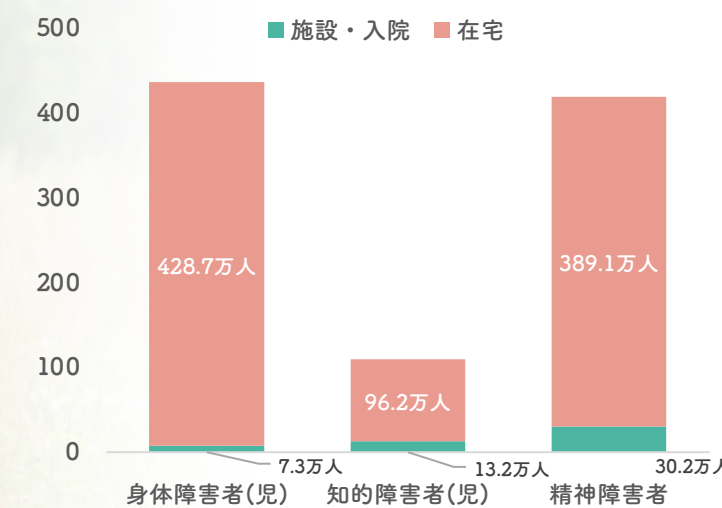


「障害」と言っても種類は様々

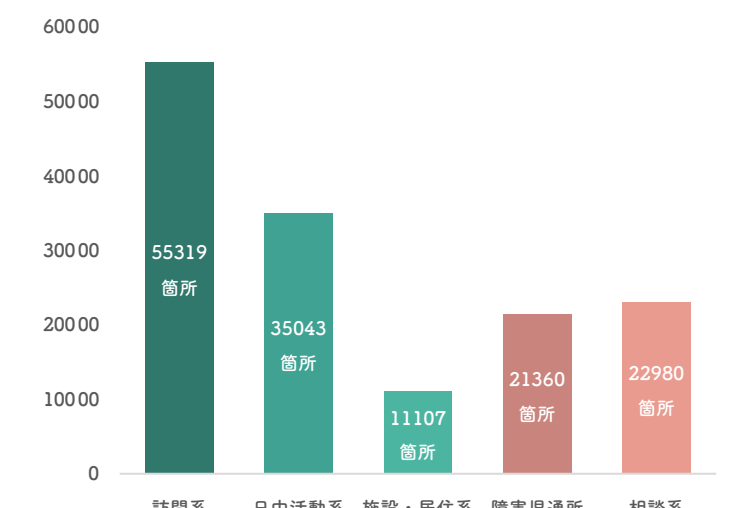
全国の現状は？

全国には多くの障害者があり、その方々を支える多くの障害福祉サービスがあります。

障害者の数



事業所の種類別にみた事業所数



出典：生活のしづらさなどに関する調査
(全国在宅障害児・者等実態調査)

出典：平成30年社会福祉施設等調査



障害福祉の仕事5つの魅力

1 「ありがとう」 が生まれる

障害福祉の仕事をする中で、利用者やその家族から感謝されることがあります。自らの仕事に対して生まれる「ありがとう」の喜びは、この仕事ならではの醍醐味です。



2 自分の成長が 感じられる

障害福祉の仕事を通して、専門的な知識や技術を身につけることができます。

利用者への支援を通して、自身の視野を広げられるだけでなく、サービス管理責任者や相談支援専門員など、具体的なキャリア形成が可能で、自分の成長を感じやすい仕事です。

3 命の尊さが 学べる



さまざまな困難や逆境を抱える人が力強く生きる姿に、命の大切さを改めて学ぶことができます。



4 社会貢献、 地域貢献が できる

困っている人に寄り添う活動は、社会への貢献度が高く、社会福祉としても重要な役割を担います。

また、障害があるなしに関わらず、地域で共生していくことが求められているため、自らのアイデア次第では、積極的な地域貢献ができます。



5 安定した 将来性が ある仕事

障害福祉サービスは法律に位置付けられたサービスです。それは社会的に必要だと認められている仕事ということです。

また、国を挙げての積極的な待遇改善も図られているため、長く安定して働くことができます。



01 社会福祉法人 りべるたす

小林 加苗様
介護職員

共同生活援助
(グループホーム)



生活の幅を広げ、活躍の場を増やす

転職したら新鮮な発見が

私は以前、福祉用具を扱う仕事をしていたのですが、「現場をもう少し知りたいな」という軽い気持ちで転職しました。対人援助はパソコンと向き合っている仕事ではなく、利用者様とダイレクトに関わりながら支援し、お役に立てる仕事なので毎日がとても新鮮で楽しいです。



ひとりで頑張りすぎない

仕事では、利用者様の身体介護や家事援助、通院や外出の同行など包括的に行っています。働くうえで大切にしているのは無理をしないこと。忙しくなると視野が狭くなり一人で頑張りすぎてしまうことがあります。無理だなと感じたら早めに仲間に相談することを心がけています。



介護職はカッコいい仕事

この仕事を通して視野が広がったと感じています。利用者様の物事の捉え方や価値観を知り、自分も成長しながら仕事をさせて頂いています。介護職はきつい、汚い、給料安いとも言われますが、「そんなことはない、カッコいい仕事だぞ」とイメージを変えていきたいですね。

02 社会福祉法人佑啓会 ふる里学舎浦安デイセンター

上地 さつき様
社会福祉士

生活介護



幅広い世代と関わり、可能性を育む

学生時代に福祉の魅力を知る

私は大学時代に放課後等デイサービスでアルバイトをしていました。障がいのある子どもの支援を通して障害福祉の魅力を知り、今の仕事に就きました。今年、新卒で入ったので不慣れな部分もたくさんありますが、やりがいも感じています。職場は若い人も多く、明るいですね。



利用者との関わりで多くを学ぶ

仕事としては、利用者さんの作業活動の支援を行っています。具体的には、作業活動の促しや声かけ、ほかにも食事作りや移動介助など直接的なケアもしています。児童から高齢者まで幅広い世代と深く関われるのが仕事の魅力です。入社して半年ですが、多くの学びがあります。

安心感を与えられる存在に

利用者さん一人ひとりの障がいも様々ですし性格も違います。コミュニケーションをとることが難しい方もいますが、やりとりを繰り返すうちに心を開いてくれた時は、この仕事をして良かったなと思います。利用者さんに安心感を与えられる存在になりたいですね。



よくある質問 (Q&A)

Q1 女性が働き続けられる職場ですか？

A 女性が活躍する職場です。

職員3人のうち2人以上が女性だと言われています。また、障害福祉には乳幼児から高齢者向けのサービスがあり、活躍のフィールドが広い職場です。

Q2 勤務時間は平均でどのくらいですか？夜勤はありますか？

A 多様な働き方ができます。

1週間の労働日数は5日が最も多く、1週間の労働時間31～40時間が最も多くなっていますが、次いで10時間以下も多いため、多様な働き方が認められている職場と言えます。施設やグループホームなどでは夜勤があります。1か月に1～5日程度の夜勤を行うことが多いです。

Q3 精神的負担・身体的負担は大きいですか？

A ときには負担を感じることもあります。

支援の結果がうまくいかなかったり、仕事を任せ過ぎで、負担や不安を感じることもあります。

しかし、仲間からの助言や利用者とのコミュニケーションの中から次に活かせるヒントが見つかることもあり、うまくいったときの感謝の笑顔に癒やされることも多いです。

Q4 未経験でも働けますか？

A 未経験者や他の分野からの転職者も多くいます。

未経験者でも働ける職種があり、実際に多くの未経験者や転職者が働いています。サービスによっては他産業のスキルが活かせることもあります。

Q5 研修制度や手当は充実していますか？

A 国を挙げて充実が図られています。

障害福祉計画の策定に係る指針において、専門性を高めるための研修の実施などが盛り込まれています。

ガイドヘルパーなどの専門的な研修や実務経験を積んだ上での相談支援専門員やサービス管理責任者などを目指す研修などが幅広く用意されています。

また、処遇改善加算など国を挙げて積極的な待遇改善が図られています。

Q6 将来性がありますか？長く働けますか？

A 社会的に必要とされている仕事です。

近年、障害福祉分野で働く方はエッセンシャルワーカーとも呼ばれ、障害者やその家族が日常生活を行う上で、必要不可欠な存在となっています。

また、近年、経験・技能を有する人材への重点的な待遇改善が図られています。

障害福祉の仕事をしてみたい！と思ったら

福祉人材センター

福祉人材センターでは、福祉・介護の求人を探ることができます。各都道府県に設置されている都道府県福祉人材センターへご相談ください。

福祉人材センター： <https://www.fukushi-work.jp/>

人材確保対策コーナー

ハローワークには、福祉のお仕事の求人などを取り扱っている「人材確保対策コーナー」という窓口があります。コーナーでは、福祉関係のお仕事の紹介や相談のほか、各種セミナーや事業所の見学会などを行っております。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188045.html>